

報告 (1) 石狩叢書第3巻の進捗状況及び今後のスケジュールについて

時期	動き
令和5年1～3月	・ 執筆者へ原稿依頼
令和5年10月29日(日)	・ 全原稿を回収、編集業者へ初稿を作成依頼 ※ 執筆者原稿の提出期限は9月29(金)
➤ 現在 令和5年 11月下旬～12月上旬	・ 初校の確認作業（委員終了後に執筆者にも確認） ・ 第1回叢書発刊編集委員会を開催
令和5年 12月中旬～12月下旬	・ 第2校の確認作業 ※ 令和5年度第2回叢書発刊編集委員会として実施
令和6年 1月中旬	・ 第3校の確認作業 ・ 第3回叢書発刊編集委員会を開催
令和6年1月29日(金)	・ 編集業者より叢書完成データの納品
令和6年2月	・ 図書館で印刷業務を発注
令和6年3月末	・ 印刷完了、発刊 ・ プレスリリース（石狩市広報メモ）の発信、チラシ制作・ 掲示

※ 進行状況によりスケジュールが変更となる場合があります。

議題 (1) 石狩叢書第3巻のタイトルについて

これまでのご提案をいただいたタイトル案

- ・ 石狩海岸の自然
- ・ 石狩浜のしぜん誌
- ・ 石狩浜のよもやま話

石狩叢書第3巻 石狩海岸の自然 大枠構成

他のタイトル案

- ・ 石狩浜のしぜん誌
- ・ 石狩浜のよもやま話

導入 石狩市の海岸は他の地域と違う希少性がある

内容 具体的なエピソード (例)

植物	生物	地形	文化	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ はまなす ・ ハマボウフウ ・ 海浜植物保護センター ・ 北限のスミレ ・ 園芸種はまなすの植え付け など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名無し沼 ・ ヒキガエル ・ 柏林 ・ イルカ、クジラが打ちあがる ・ キタホウネンエビ ・ イソコモリグモ など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 砂嘴の変化 ・ 砂丘 ・ 古地図・絵から見る地名 ・ 車が浜まで乗り入れられる など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文学、俳句 ・ 無事の民 ・ 海水浴場 ・ 市民活動 ・ 海浜植物保護条例 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植生調査 ・ 石狩灯台 ・ バギーの乗り入れ ・ 海浜植物保護センター20周年の地域の記録 など

まとめ 石狩市の自然があると、将来こんな良いことがありそう
(例えば…、植生が自然の堤防になったり など)

※厚田区・浜益区の自然については別巻にて検討。今回の範囲は新川の入り口⇄シラツカリ (豊富)
※テーマに適した書き手を複数人選出

↑令和4年12月に専門家を交えたメンバー(北大 松島さん、元海浜植物保護センター職員 内藤さん、田岡委員長、三島委員、志賀委員)で整理した叢書の大枠。なお、本件は、令和5年3月に委員全員へ報告済み。

議題 (2) エピソードの順番について

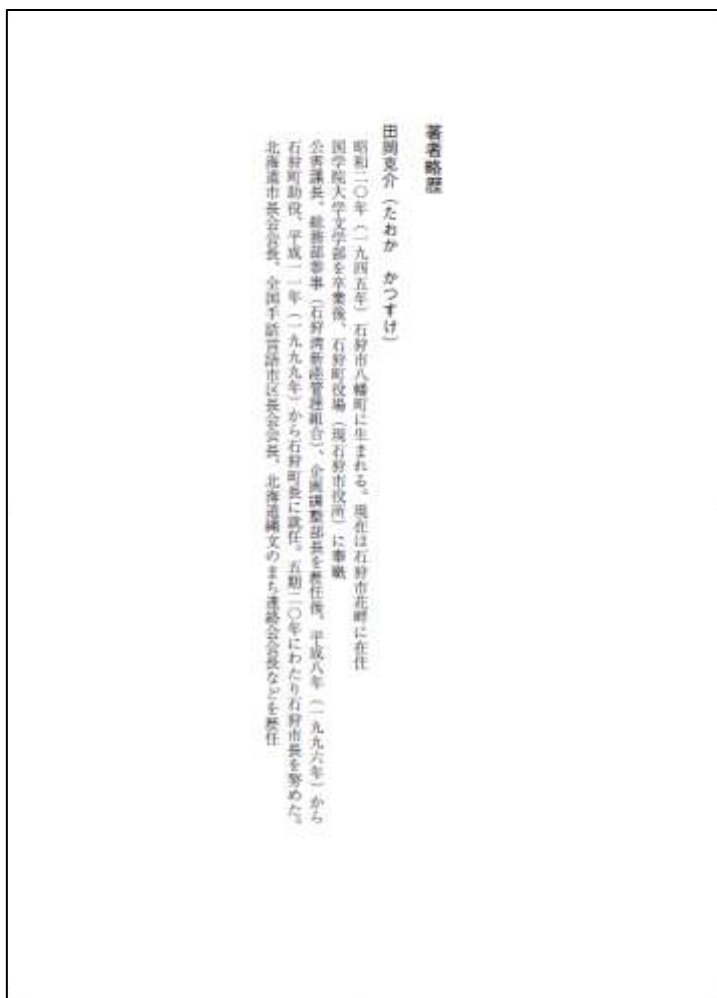
別紙エピソード一覧を参照

課題 (3) 執筆者紹介ページについて

(案)

フォーマット：石狩叢書第2巻と同様に1名につき、5行以内（1行46文字×5行=230文字）年表記については、「和暦（西暦）年」に統一

※執筆者数は13名。並び順を検討



議題 (4) 印刷部数について

① これまでの叢書の印刷状況

	発刊日	タイトル	著者	頁数	発行部数
第1巻	令和3年9月1日	吉岡玉吉さんの昔語り 私の体験したサケ漁	吉岡 玉吉	164P	600部
第2巻	令和4年10月1日	田岡克介さんの鮭話彼是 鮭の鱗	田岡 克介	154P	700部

② 石狩叢書の販売・配布部数の状況について※概数(令和5年11月30日時点)

	第1巻	第2巻	備考
印刷部数	600部	700部	
総販売数	122部	296部	
内訳 福利厚生会	58部	71部	
道の駅	20部	40部	
観光センター	26部	61部	
図書館喫茶	18部	124部	
配布数	268部	270部	図書館等無料配布分
在庫数	257部	134部	